

アサヒペン

これは便利

ガス抜きキャップ付

マーキング スプレー

アスファルトにも
にじまず書ける

MARKING SPRAY

細吹き
ノズル使用

建築・土木・配管・電気・通信・
鉄道等工事や林業・造船・
鉄工業等におけるマーキング

用途

標準塗り面積
(1回塗り)

1.1~1.9㎡
タガミ0.7~1.2枚分

乾燥時間

夏期/10~30分
冬期/30~60分

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

300ml

使用方法・注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 マーキングスプレー
成分 合成樹脂塗料
成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、有機溶剤

使用方法

1. 塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等をとります。
2. 塗料がついては困る周囲は、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。
3. 使用するときは、容器を充分に振り(かくはん球の音が聞こえてから30秒間)、よく混ぜます。使用中もときどき振りかきして中身をよく混ぜます。
4. 塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は5~15cmの間隔をとります。
5. 目立たない部分で試し塗りをして色・噴射の状態・乾燥性・下地への影響・密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。
6. 一度に厚塗りしないで、塗る面と平行に移動しながら塗ります。
7. 使用後は、噴出口がつまらないよう容器を逆さにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

危険



- 引火性あり ●強い眼刺激 ●臓器の障害
- 呼吸器への刺激のおそれ ●眩気やめまいのおそれ

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外傷に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

第1石油類150ml/危険等級II/火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料(A-008)

廃棄する際のガス抜きキャップの使い方

注意事項

- ①必ず中身を使い切ってから行って下さい。
- ②火気のない場所で行って下さい。
- ③塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
- ④容器が倒れないよう早な場所で行って下さい。

ガス抜きの方法

- ①スプレーから押しボタンを引く抜きます。
- ②キャップの内側にティッシュペーパーを6~7枚敷き、セロハンテープで浮かさないように止めます。

ボタンを
引く強く



- ③容器を立てた状態で、キャップを逆さにし、上面の穴をステンに合わせ押し込みます。キャップが固定されるとシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。2~3時間放置後、缶には油性ペンで「ガス抜き済」と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。

キャップ: プラスチック(PP)
フィルム: プラスチック(PP)
ボタン: プラスチック(PE)
容器: スチール

日本製

01-1604

取扱以上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③取扱には必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋(ポリ手袋など塗料が透過しないもの)を使用して下さい。炎症を起こすおそれがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また、吸い込んだり、目に入らないように注意して下さい。④天気のよい湿度の低い日に塗って下さい。湿度が高いときに塗ると、ツヤが出なかったり、塗膜が白くもることがあります。⑤有機溶剤が含まれているので、塗後・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑥塗料を吹きつけるときは、人や物にからまないよう注意して下さい。⑦容器を逆にした状態で吹き付けできません。⑧表示してある色は、実際の色と多少異なることがあります。⑨塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。⑩やむを得ず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑪容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を充分に抜き、中のゴミともしっかり区別して捨てて下さい。⑫容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので、取扱いに注意して下さい。

保管上の注意 ①幼児の手の届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食したずらさないように注意して下さい。②中身が漏れたり破裂する危険がありますので、濡った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるようなところは置かないで下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- ①炎や火気の近くで使用しないこと。
- ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- ④火の中に入れないこと。
- ⑤使い切って捨てること。

高圧ガス: DME

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
<http://www.asahipen.jp>

お客様相談室
☎06-6934-0300